

会議名	第3回厚木市観光振興推進委員会
日時	平成30年2月15日(木)15時00分～16時30分
場所	厚木市役所本庁舎 3階 特別会議室
出席者	出席者 12人 厚木市観光振興推進委員会委員7人 事務局4人(産業振興部長、観光振興課長、観光振興係長、観光振興課主任) オブザーバー1人(一般社団法人厚木市観光協会専務理事兼事務局長)

会議の経過は次のとおり。

## 1 開 会

## 2 挨拶 観光振興推進委員会委員長

今年度、最後の委員会の開催となる。案件に平成29年度事業と平成30年度事業の報告があるので、さまざまな角度から委員の皆さんの意見を伺いたい。

## 3 案 件

- (1) 平成29年度事業について 議事進行：委員長 説明：事務局  
資料1に基づき説明。

### 【意見等】

(委員長)「手ぶらでバーベキュー及び鮎のつかみ取りの社会実験」については、参加者が多かったと感じるが、事業全体としてはどうだったのか。

(事務局)1,000人を目標に設定していたため、思ったより参加者が少なかった。しかし、事業を実施したことにより課題も見えてきたので、30年度はその課題をブラッシュアップして事業を実施していきたい。

(委員)「秋のあつぎ満喫の旅(モニターツアー)」については、ツアーに参加したが天候が悪くて残念だった。主婦層などには、人気があるツアー内容だったと思う。

(委員)市外の参加者も多かったため、目的地に向かうバスの中で東京農業大学のイベント案内など、厚木市のちょっとした情報をアナウンスすると効果的なPRになるのではないかと感じた。

ストウブ料理の料理単価は、どのくらいの金額だったのか。

(事務局)ツアー料金の原価は7,000円であるが、料金の半分はストウブ料理の金額となっている。今後は、料理単価を調整していく必要があると感じている。

(委員長)ストウブ料理やJAあつぎの施設を利用するなど、厚木の良いところをピックアップした非常に良い内容のツアーであると感じた。今後、このツアーをどのように商品化していくか検討していただきたい。

(事務局)料金設定や施設使用料など検討していきたいと考えている。

(委員)「丹沢大山観光キャンペーン推進協議会 観光キャラバン」について、小田急線新百合ヶ丘駅で実施された観光キャラバンに参加し、丹沢大山地域の知名度はすごくあると感じた。知名度はあるので、あとは訪れるきっかけづくりが必要であると感じている。

(事務局)近隣市町村と連携し、丹沢大山地域の魅力をPRするとともに、訪れるきっかけづくりについて研究していきたい。

(委員)「横浜銀行のATMを活用した厚木市への観光客誘致」について、この取組は、現在実施しているのか。

(事務局) 2月1日(木)から28日(水)まで実施している。

(委員) ATMなどの日常生活の空間で、温泉や観光資源をPRすることは効果的だと思う。

(委員) 横浜銀行は、このほかにもこのような事業を実施しているのか。

(事務局) 横浜銀行が地方創生の取組として実施しており、県内においては、伊勢原市、山北町及び秦野市に続き4例目となる。

(委員長) 取組結果を、分析できるのか。

(事務局) 横浜銀行からは、結果の報告をいただく予定となっている。

(委員長)「観光バス「はとバス」ツアー」について、厚木市と「はとバス」がタイアップしてツアーを商品化したことに成果を感じる。ツアー参加者に対して、アンケートなどを実施する予定はあるのか。

(事務局) アンケートを実施し、「はとバス」から報告をいただく予定となっている。

(2) 平成30年度事業について 議事進行：委員長 説明：事務局  
資料2に基づき説明。

**【意見等】**

(委員長)「飯山白山森林公園桜の広場整備事業」について、平成32年度に「整備工事」とあるが、「基本構想の策定」とは別予算で計上されるのか。

(事務局) 平成32年度の「整備工事」は別予算となる。

(委員長)「受入環境整備事業」について、クレジットカード使用不可など、宿泊施設や飲食店で使用できる共通の案内表示などを作成して、希望する宿泊施設等に配布してみてもどうか。

(事務局) 宿泊施設等のニーズに合わせた補助内容を検討していきたい。

(3) 観光振興に係る意見交換について 議事進行：委員長

**【意見等】**

(委員)「秋のあつぎ満喫の旅(モニターツアー)」について、ツアー内容に「非常に満足している」が多数を占めるのに対して、ツアー料金に関しては「満足していない」というアンケート結果が出ていることに戸惑いと疑問を感じ残念に思う。「はとバス」ツアーについては、厚木市から補助をしているのか。

(事務局) ツアー料金に対し、1人2,000円を補助している。

(委員) 初めて委員に就任した6年前と比較すると、事業のレパートリーが増えたと感じる。厚木市の観光振興に関わる者としてやりがいを感じる。

(委員) 駐車場の位置情報やお土産の購入場所など、インターネットを活用した情報発信を意識してみてもどうか。

(事務局) SNSなどの活用方法を調査・研究し、効果的に情報発信していきたい。

4 その他 議事進行：委員長

(事務局) 平成30年度第1回の会議は、6月中旬を予定している。

5 閉 会